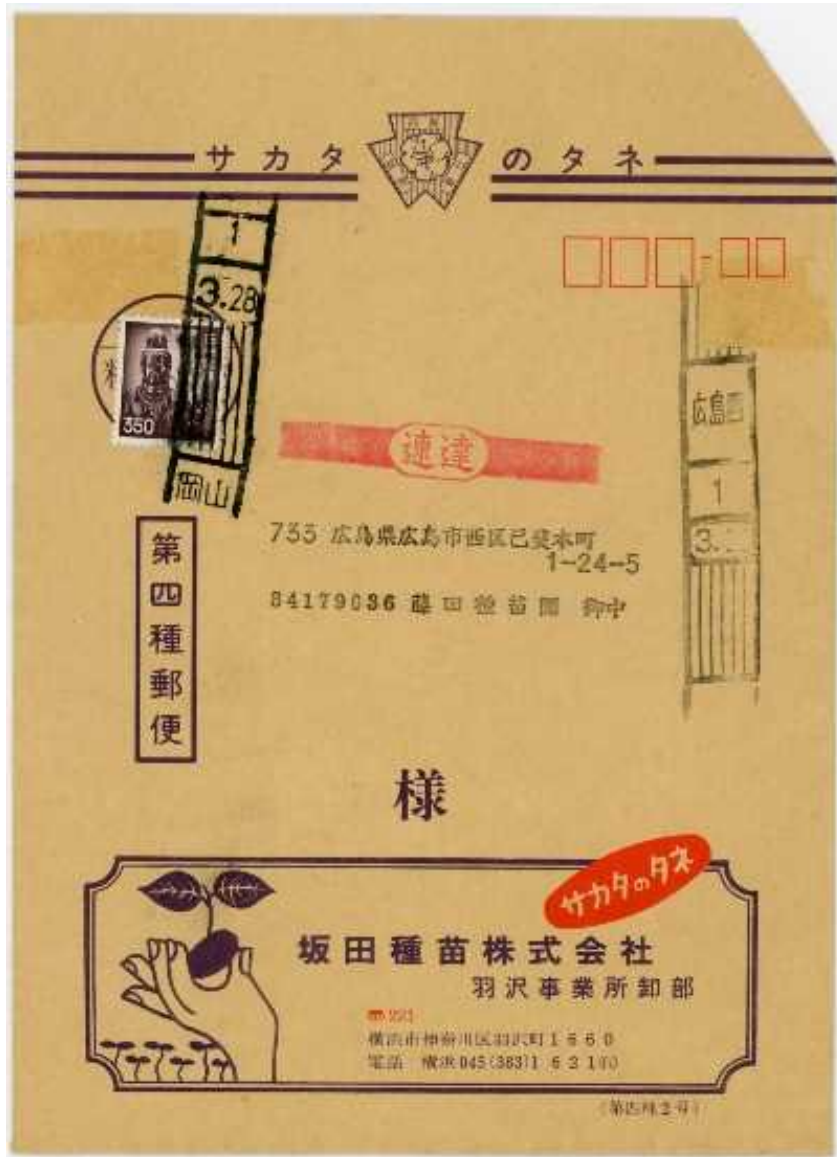


平成最初期の農産種子便

永吉 秀夫



岡山〇〇 H1(1989)3.28 → 広島西

消費税3%が導入される直前に差し出された、速達扱いの農産種子便です。100g超150gまでの第4種便農産種子料金150円に速達料200円を加えて350円料金となり、350円普通切手が1枚貼りで使用されました。

種子会社の封筒を使って農園あてに差し出された、理想的な姿のカバーに見えますが、どうも引っかかる点があります。差し立てた会社の所在地は横浜なのに岡山の消印が押されていること、100g超の重量便にしては封筒がきれいなこと、350円というこの時期としてはあまり使われない切手が貼られている点、などなど。着印もついていて、実通便であることは間違いないのですが...